



毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です
～子どもの読書活動を推進しましょう～

読書週間スタート10月27日～11月9日



秋は「〇〇の秋」と言われるように、色々なことを楽しみやすい季節です。よく耳にする「読書の秋」もそのひとつです。秋は読書の似合う季節です。10月27日から11月9日の2週間は「読書週間」です。

それにしても、どうして「読書の秋」といわれるようになったのでしょうか。暑くもなく、寒くもなく、過ごしやすい秋は読書にもってこいの季節だからでしょうか。昼の時間が長い夏に比べ、夜が長くなってから「秋の夜長は読書しよう」というイメージに結びついたからでしょうか。

一説には、古代中国唐代の文人韓愈（かんゆ）の、「符読書城南詩」という学問をすることの大切さを詠んだ詩が由来となっているようです。

秋は日の出から日の入までの時間が四季の中でも短くなり、夜が長い季節です。その時間を有意義に過ごすため、前述の漢詩をベースとした「灯火親しむべし」という言葉が中国で広まりました。「秋は過ごしやすい季節です。夜には灯りをともし読書をするのが最適です」という意味合いです。明治時代には夏目漱石の「三四郎」にもこの一節が登場します。

火を灯すのはもちろん夜ですから、この韓愈の詩が「秋の夜長は読書」＝「読書の秋」のイメージの由来になったと言われています。

さて、いよいよ始まる「読書週間」にさまざまな取り組みを考えている学校も多いことと思います。コロナ禍で人との繋がりが薄くなっている今こそ、本を通して繋がってみてはどうでしょうか。

その一つの取り組みとして、子どもたちどうしの「おすすめの本」はよくされていますが、子どもだけでなく、先生からのおすすめの本、保護者からのおすすめの本、さらに地域の方々からのおすすめの本など「おすすめの本」の幅を広げてみましょう。おすすめの本を読んだら、その感想を紹介者に届けましょう。

読書の幅を広げると、考え方、見方も広がることでしょう。



読書週間イベント あれこれ



☆絵本のキャラクター人気投票！

低学年を中心に絵本に登場するキャラクターの人気投票をしてみてもいいでしょう。キャラクターの絵本を面だし（表紙を見せて）して展示すると、手に取って読んでみる子たちが増えることでしょう。

投票結果にもわくわくドキドキすることでしょう。

<キャラクター例>

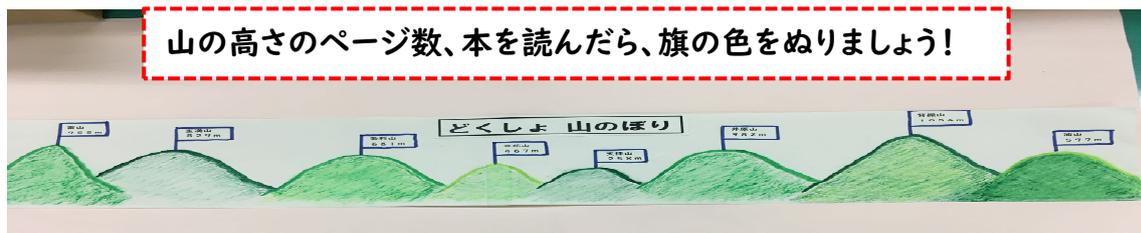
アレキサンダー おしりたんてい がまくんとかえるくん バムとケロ
ピーターラビット カラスのパン屋さん キツネとオオカミ ゾロリ
ぐりとぐら そらまめくん 11ぴきのねこ ねずみくん
ノタン ルルとララ バムとケロ など

☆読書山登りに挑戦

読書週間に読んだ本のページ数で、福岡市内や近くの山々に登ってみましょう。

<山登り例>

天拝山	258m	可也山	365m	四王寺山	410m
立花山	467m	油山	597m	若杉山	681m
宝満山	829m	井原山	982m	雷山	955m
背振山	1054m	富士山	3776m	エベレスト	8849m



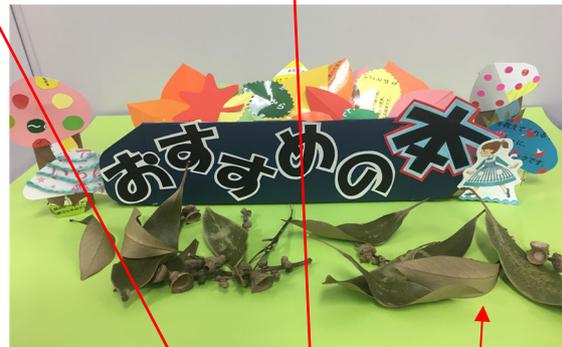
☆図書館紹介番組を作ろう！

図書館の書架の配置や、特設コーナーを、給食中等に全校児童（生徒）に、ビデオで紹介してみましょう。紹介しながら、クイズを出していくと面白いのではないのでしょうか。図書館来館者も増えることでしょう。

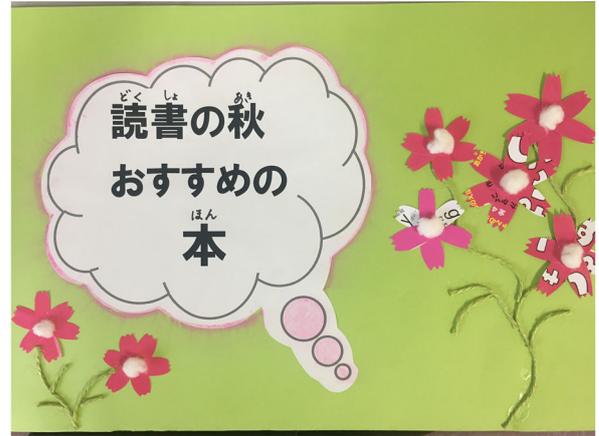
※ 小学校では図書委員会、読書リーダーに、中学校では美術部、放送部など、できるだけ多くの児童生徒が関わることが大切です。

本の帯を使った10月の掲示・

『読書の秋』・・・図書館を秋いっぱいに見せよう。
本の帯には、だいたい色を使っている物がとても多いです。
目立つから、あたたかい感じがするからでしょうか。そんな
秋色を使って、秋いっぱいの掲示をしてみよう。



入口に、さまざまな帯の紙を使って、紅葉した葉を紐に付け、揺れるようにしてみました。
図書館に入る度に、秋を感じます。
また、学校に落ちている木の実や木の葉からも秋を感じます。



本の横にかわいいきのこを掲示してみました。本を探す度に、思わず笑顔がこぼれます。

現在、総合図書館 団体貸出の書庫には新種のきのこが あちらこちらに……。





11月生まれの文学者



中村 航(なかむら こう)と「トリガール」

岐阜県大垣市 1969年11月23日生まれ

中村氏が小説を書き始めたきっかけは、バンドをやめて何かやろうかと思った時に友人から小説を書くように勧められ、これくらいの枚数をどのくらいの日数で書けるか、自分を試すつもりで初めて書いた作品が、面白いものが書けたと思ったからでした。そこで、本格的に書こうと考え、村上春樹氏などの現代作家を読み始め、図書館に行くようになったそうです。

1999年、29歳の時にお金も貯まり、読書体験は薄いですが小説を書くのにちょうどいい年齢でいい頃合いだろうと思い仕事を辞めました。そして、書くことを中心に生活していた31歳の時に「リレキシヨ」(文藝賞)で作家デビューしました。

「トリガール」は、「鳥人間コンテスト選手権大会」に出場する作家の母校である芝浦工業大学をモデルにした人力飛行機チームの奮闘を描く青春物語で、映画化もされました。

中村氏の作品は、「夏休み」、「ぐるぐるまわるすべり台」(野間文芸新人賞)などあります。

絲山 秋子(いとやま あきこ)と「沖で待つ」

東京都世田谷区 1966年11月22日生まれ

作家になりたいと思っていなかった絲山氏が作家になったきっかけは、会社に勤めていた時に精神疾患で入院して時間があつたため、文章を書き始めたことでした。その後、退院して書いた「イツツ・オンリー・トーク」が文学界新人賞をとり、作家デビューをしました。

芥川賞を受賞した「沖で待つ」は、絲山氏が新卒で赴任した福岡が舞台です。主人公や登場人物の言動、勤めていた会社で実際に起こったエピソードがたくさん書かれています。

絲山氏は、午前エッセイ、午後小説を書くことが習慣だそうです。自分の新刊が出た時には必ず本屋に何店か行き、どんな本が読まれているかなどを聞くそうです。

絲山氏の作品は、「袋小路の男」(川端康成文学賞受賞)、「海の仙人」(芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞)、「薄情」(谷崎潤一郎賞受賞)などがあります。

【あとがき】 「春の七草」と言えば1月7日に七草粥を食することで、その風習が今でも続いています。スーパーの店頭で七草が並んでいたり、給食の献立にも取り入れられたりすることもあり、知っている子も多いことでしょう。

しかし、秋にも七草があることは意外と知られていません。秋の七草は万葉集に収められている山上憶良の2首の歌が始まりです。「秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびをり)かき数ふれば 七種(ななくさ)の花」「萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝貌の花(桔梗)」です。

春の七草が七草粥にして無病息災を祈るものに対し、秋の七草はその美しさを鑑賞して楽しむものです。秋はやさしい色の花が多く、紅葉も楽しめます。コロナ禍ですが、自然に目を向けたり、読書を楽しんだり、ほっとした時間を持ちたいものです。

(足立)



今月は、のんびりした王さまと、その王さまをやさしく手助けしてくれるねこが活躍するお話を紹介します。

『ねこと王さま [1]』 2019年 ¥1600 (税別)

ニック・シャラット／作・絵 市田 泉／訳 徳間書店

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆ (★が多い年齢の子どもにお勧めです)

<本の紹介>

王さまは、召使いに上手に指示を出したりして手助けしてくれる、一番の友だちであるねこと、お城で暮らしていました。ある日、火をふくドラゴンがお城を燃やしてしまい、王さまたちは、街なかにお引越することになります。

お城にいたころは身の回りのことを召使いにやってもらっていたので、王さまは一から買い物や食器洗いを覚えなければなりません。ねこの手助けと、王さまの威厳で、なんとなく上手くいき、楽しそうに乗り越えてしまうところが、可笑しい作品です。

<子どもに手渡す時のポイント>

洗練されたシンプルな線で描かれる可愛らしい挿絵が、ほとんどのページにあり、王様たちが買い物をした家具や食料品などの絵が並んでいて、絵を追うだけでも楽しめます。

お話も12章に分けられ、各章10ページ程度でまとまっており、子どもにあわせた読み方ができるので、読んであげるなら幼児や小学校低学年、自分で読むなら中学年まで、幅広く楽しめます。

お話が気に入った子には、続編の『ねこと王さま [2] しごとをさがす』(2021年 ¥1700 (税別))を是非手渡してあげてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行：福岡市教育委員会
総合図書館 図書サービス課
電話：092-852-0639
FAX：092-852-0801